

OPTIMIZERがSQL文の解析と実行計画の作成 に割り当てたCPU使用率の調べ方

重複したSQL文の個数調査

(バインド変数を使っていないため、リテラルだけが異なるなど)

同じ実行計画が何度も使われるSQL文の発見

実行計画が同じ ≠ SQL文が同じ

- ・バインド変数が使われておらず、リテラル値だけが異なる
 - ・SQL文中のブランク数が異なったり、文字の大文字小文字表記が異なる
- このことにより、余分なSQL文の解析（パース）が行われ、非効率である

[パフォーマンス] タブ → 「その他の監視リンク」セクション「重複したSQL」

調査結果

パフォーマンス問題ポイントの調べ方 3

重複したSQL

インスタンス起動後のCPU使用率

- ・全CPUのCPU使用率(%) 6.42
- ・使用中のCPUに対する解析用CPUの使用率(%) 81.88 ←6.42の中の割合

OPTIMIZERがSQL文解析と実行計画作成に使ったCPU使用率 =
[全CPUのCPU使用率] × [使用中のCPUに対する解析用CPUの使用率]

※ CPU使用率が高く、かつ解析用のCPUの使用率(%)が高い場合には、OPTIMIZERによる実行計画の作成処理が、遅延のボトルネックになっている

この場合には、重複したSQL文を少なくするために、バインド変数を使用しリテラルの置換えを行う

もしくは、SQL文内の空白文字(数、大/小文字使用)を統一して、重複するSQL文の種類を減らすこと

複製	計画ハッシュ値	SQLテキスト文
▼1515	923645870	select * from Table_A where code = 'A'
	923645870	select * from Table_A where code = 'B'
	923645870	select * from Table_A where code = 'C'
	923645870	select * from Table_A where code = 'D'
	923645870	select * from Table_A where code = 'E'
	923645870	select * from Table_A where code = 'F'

重複回数